

市政を問う

代表質問

一般質問

3月定例会における「市長施政方針」に対し、2月28日に3会派が代表質問を行い、市政に関する一般質問は、3月1日、2日に8人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。（質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です）

* 質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。市議会ホームページか、半田図書館・亀崎図書館に設置してあります会議録をご利用ください。



党 代表 山本半治 議員

問 多くの市民から寄せられている、突然起きた病院建設移転問題は何かスッキリしないという声にどう答えますか。

答 大村知事の助言を反故することは、半田病院を含めた市政や市民生活への影響、県との信頼性が毀損されるなどの思いから苦渋の選択をしたもので、市民の皆様が理解されるよう、最良の結論を出していきます。

問 定住人口の増加を図るには、結婚して本市で住み続ける家族を増やすことが重要です。結婚を希望する人達の手助けとなる施策を実現すべきではないですか。

答 国の補助制度を活用するなど、本市として何ができるか積極的に取り組んでいきます。

問 本市が全国、全世界に向けたイメージアップを図るには、毎年1,400人以上が入学する市内高校生に、まちの魅力発信者になってもらうべきではないですか。

答 市や日本福祉大学の支援のもと「はんだU22研究所」では、S

市政を問う 代表質問（質問議員が執筆しています）

Sを活用した若者目線の取り組みを進めています。より多くの高校生に関わってもらおうと共に「はんだまちづくりひろば」が市内高校とのパイプ役となり、必要な支援をしていきます。

問 中小企業が設備投資の税制改正が予定されており、固定資産税の税率をゼロ以上2分の1以下と市で決めることができると考えはありますか。

答 中小企業振興に効果が高いと判断しており、ゼロに向けて取り組んでいきます。

問 知多半島5市5町と半田、常滑、碧南、西尾で結成された竜の子街道広域観光協議会で広域観光の推進が図られています。市内の渋滞対策が必要ですか。その対策として都市計画道路「環状線」の全線開通が必要となります。積極的な対応をお願いできますか。

答 本市未整備箇所は平成33年完了予定ですので、残る未整備箇所のア久比町に事業への協力をお願いし、事業主体者の愛知県に対し早期事業化に向けた要望活動を行っていきます。



半田 創造 石川英之 議員

問 「防災・減災」対策について、どこに重点を置いたのですか。

答 「防災・減災」については、要配慮者への支援助力の計画的な備蓄を進めるとともに、移動系無線機の増台を図っていきます。

問 「教育・子育て」について、安心して出産・子育てができる環境とはどのような環境ですか。

答 例えば、待機児童や、隠れ待機児童をなくすなどソフト面でもきちんと対応できる環境です。「放課後子ども教室」と放課後児童クラブの一体的な運用についてはどのように考えていますか。

答 現在も一体的に事業は進んでいます。今後、児童や保護者の希望により放課後児童クラブに通う児童が放課後子ども教室に参加できる仕組みを検討していきます。

問 観光振興における「インスタグラムやSNSなどの活用」については如何お考えですか。

答 学生と連携し、インスタ映えするスポットを若者目線で発掘し、プロが撮影した画像をSNSやネット上に掲載することにより、半田の魅力の拡散を図ります。また、撮影意欲を掻き立てる小道具や、モニタメントになるようなフォトブースなど、半田を象徴する撮影セットを若者の意見を取り入れながら作成します。

問 半田病院について、市民に対し説明会を開催する考えはありますか。

答 一定の方向性が決まったあとに、きちんと説明をさせて頂き、新年度予算に対する市長の意気込みはどこに表れていますか。

答 放課後児童健全育成事業に係る保育料の引き下げや小中学校のトイレ洋式化70%への取組は早期の公約実現に向け予算化しています。また、幼稚園の保育室等への空調機設置に向けた設計も進めていきます。